

第87期 株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2026年3月期は物価高、人手不足の影響が継続しており市場の動きを抑制しました。電力業界ではレベニューキャップ制度に伴う設備投資に影響が出ております。北陸地区では能登半島地震、奥能登豪雨災害の対応が復興フェーズに移行し、被災地域での工事が順次動き出しています。送電用鉄塔・鉄構は、今期も堅調で良い結果につながりました。通信業界は、設備投資抑制方針に変わりはなく、横ばいで推移しました。建設業界においても物価高、人手不足の影響は特に如実で市場は停滞しており、厳しいものがありました。

2026年度、電力業界は引き続きレベニューキャップ制度の動向がカギとなります。近年、AI、クラウド等でデータセンターの電力消費が急増しており、送変電インフラの設備増強が急務となっております。情報収集に努めて受注につなげてまいります。通信業界は新たなサービスに向けた通信線の切り替え工事が課題であり提案型営業に努め、受注活動に努めます。建設業界では、2026年度の立ち上がりは前年度を引きずる形で推移する見通しで、秋口からの動きに期待し、スタッド・免震関連製品の二本立てで活動してまいります。

現富山工場の手狭解消を目的として、一昨年新工場の富山呉羽工場を着工いたしました。お陰様で2025年5月8日竣工いたしました。生産も順調に進捗しており、当社の将来の主要工場となるべく、着々と実績を上げております。

先に述べたように北陸被災地は復興への道を歩みだしました。復興支援は当社の最大の責務であり最優先と捉え取り組んでまいります。

「インフラに関わる企業として皆様から求められる事を果たすこと」を不変の使命とし、社会に貢献してまいります。

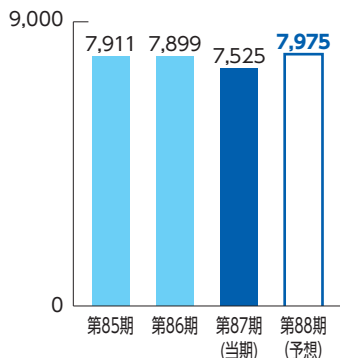
株主の皆様におかれましては、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



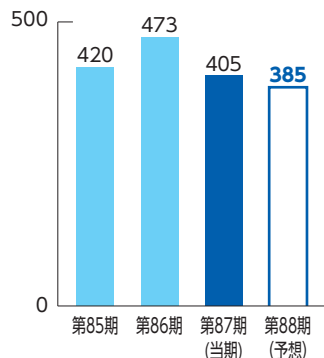
代表取締役社長 鈴木 和也

決算ハイライト

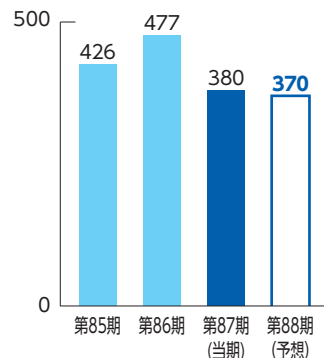
売上高 (百万円)



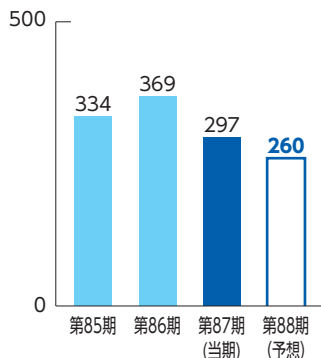
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



株式会社 大谷工業

証券コード5939

会社概要	
社名	株式会社 大谷工業 OTANI KOGYO CO.,LTD.
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目23番1号 第3TOCビル5F
創業年月日	1946年2月1日
資本金	6億5,520万円
従業員数	179名 (2026年3月31日現在)
事業内容	配電・通信線用架線金物、CATV・防災無線用金物、 鋅螺の製造・販売 送電鉄塔・無線鉄塔、屋外鉄構、架台、 フェンスの設計・製造・販売 建築用スタッド、免震ベースプレートの製造・販売・施工 溶融亜鉛めっき加工
工場	鹿沼工場、富山工場、富山呉羽工場
営業所	名古屋、大阪

大株主 (2026年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
(株) ニュー・オータニ	216,800株	27.82%
(株) エムアンドエーコーポレーション	77,400	9.93
(株) テーオーシーサプライ	55,000	7.05
中本有紀	42,149	5.41
大谷鹿沼取引先持株会	30,000	3.85
大谷富山取引先持株会	27,400	3.51
(有) 大谷興産	18,000	2.31
J P モ ル ガ ン 証 券 (株)	11,000	1.41
(株) 北陸銀行	10,000	1.28
三菱UFJ信託銀行(株)	10,000	1.28
エイチアルティニューオータニ(株)	10,000	1.28

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	2,800,000株
発行済株式総数	779,059株 (自己株式941株を除く)
株主数	1,340名

新工場紹介 富山呉羽工場

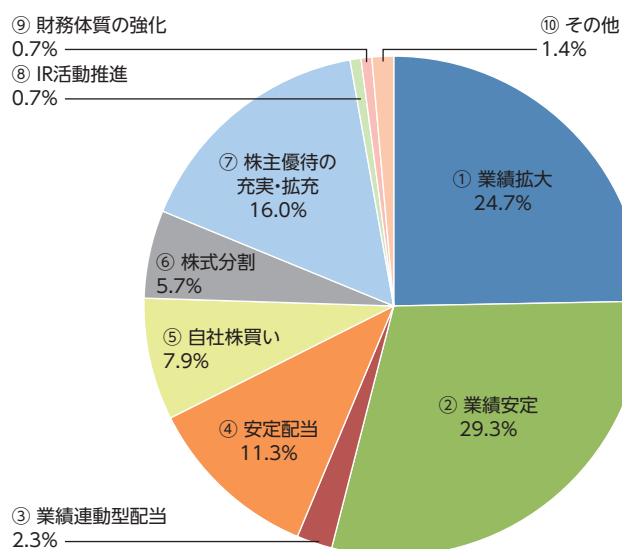


株主メモ

証券コード	5939
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	毎年3月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日です。
定時株主総会	毎年6月下旬
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL : 0120-232-711 郵送先 : 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページ (https://www.otanikogyo.com/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

株主様アンケート結果 (2025年7月実施)

◇当社に最も期待することをお聞かせ下さい。



◇当社の株主優待についてお聞かせ下さい。

